



## 平成30年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月8日

上場会社名 インспек株式会社  
 コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 雅史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成29年12月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	639	25.8	278		288		262	
29年4月期第2四半期	861	70.5	6		19		13	

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 283百万円 ( %) 29年4月期第2四半期 75百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	82.85	
29年4月期第2四半期	5.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第2四半期	3,249	1,396	34.1	339.95
29年4月期	2,490	1,203	32.3	296.67

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 1,108百万円 29年4月期 805百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		0.00	0.00
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	22.7	65	52.5	46	65.7	57	46.4	17.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成29年10月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期2Q	3,259,600 株	29年4月期	2,713,600 株
期末自己株式数	30年4月期2Q	31 株	29年4月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期2Q	3,164,942 株	29年4月期2Q	2,602,588 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年5月1日～平成29年10月31日）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善し、日経平均株価指数が21年ぶりに22,000円台に回復するなど回復基調が続いており、個人消費にも持ち直しの動きが見られております。一方、海外においては米国のダウ平均株価が史上最高値を更新するなど景気は拡大基調が続いており、欧州においても堅調な推移が見られます。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は639百万円（前年同期比25.8%減）、当社連結子会社であるFirst EIE SAの株式を追加取得したことによるのれん償却費71百万円を計上したため営業損失は278百万円（前年同期は営業損失6百万円）、経常損失は288百万円（前年同期は経常損失19百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は262百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失13百万円）となりました。

また、当社連結子会社であるクラーロ株式会社（以下、「クラーロ」といいます。）は、平成29年10月31日を払込日とする「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債」の割当を株式会社ウィズ・パートナーズ（以下、「ウィズ・パートナーズ」といいます。）が業務執行組合員を務めるTHEケンコウFUTURE投資事業有限責任組合に対して行い、500百万円の資金調達を実行致しました。ウィズ・パートナーズは、ヘルスケア分野を重点に投資活動を行っており、専門的見地からクラーロの取組みを高く評価し、資金提供を判断したものであります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第2四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますAVI（自動最終外観検査装置）及びAOI（プリント基板のパターン検査装置）の引合いや受注は引き続き堅調に推移しております。また、当社が戦略的に取り組んでおりますロールtoロール型検査装置の受注を獲得したこともあり、当第2四半期連結会計期間末における受注残高は747百万円となっております。しかしながら、ロールtoロール型検査装置をはじめとする現受注案件につきましては第3四半期及び第4四半期に納入が多いことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は368百万円（前年同期比33.4%減）となり、セグメント損失は127百万円（前年同期はセグメント利益21百万円）となりました。

#### ②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第2四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソ（基板のフィルム原版を印刷する装置）が売上を牽引しておりますが、ダイレクトイメージング装置（基板にパターンを直接描画する装置）の納入時期が遅れたため、当第2四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。また、First EIE SAの株式を平成29年8月2日付で追加取得したため、のれんが294百万円増加しております。そのため、追加取得時までののれん償却費相当額71百万円を一括して費用として計上しております。

この結果、当事業の売上高は258百万円（前年同期比12.3%減）となり、セグメント損失は88百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

#### ③デジタルパソロジー関連機器事業（クラーロ株式会社）

当第2四半期連結累計期間におきましては、病理標本をデジタル画像化するWSI（Whole Slide Imaging）は、デジタル画像による病理検査を可能とする法整備を進めている途上であること及び保険収載の方針を見据え、新製品の開発に注力したことから当第2四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は12百万円（前年同期比6.4%減）となり、セグメント損失は67百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ758百万円増加し、3,249百万円となりました。これは主に、現金及び預金352百万円の増加、受取手形及び売掛金173百万円の減少、仕掛品300百万円の増加及びのれん198百万円の増加によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ565百万円増加し、1,852百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金204百万円の減少、前受金152百万円の増加、長期借入金93百万円の増加及び転換社債500百万円の増加によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、1,396百万円となりました。これは主に、資本金273百万円の増加、資本剰余金273百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純損失262百万円の計上によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、1,121百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は149百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額181百万円、たな卸資産の増加額333百万円及び税金等調整前四半期純損失303百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は68百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出50百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は559百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入544百万円、社債の発行による収入500百万円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出376百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月期の通期の業績につきましては、平成29年6月9日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細は本日（平成29年12月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	775,728	1,127,877
受取手形及び売掛金	448,265	274,927
電子記録債権	5,702	—
商品及び製品	86,766	88,583
仕掛品	164,543	465,018
原材料及び貯蔵品	81,581	101,770
その他	34,239	56,390
貸倒引当金	△7,200	△702
流動資産合計	1,589,628	2,113,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	171,704	167,671
機械装置及び運搬具（純額）	25,817	67,720
土地	20,350	42,990
建設仮勘定	104,019	62,092
その他（純額）	33,755	41,983
有形固定資産合計	355,647	382,458
無形固定資産		
のれん	509,846	708,648
その他	19,166	19,493
無形固定資産合計	529,012	728,142
投資その他の資産	16,225	24,952
固定資産合計	900,886	1,135,553
資産合計	2,490,515	3,249,418
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	183,051	263,969
短期借入金	196,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	364,509	159,756
未払法人税等	50,091	19,771
製品保証引当金	32,802	19,831
賞与引当金	23,322	24,067
繰延税金負債	9,378	9,718
その他	91,909	220,318
流動負債合計	951,064	917,433
固定負債		
長期借入金	302,948	396,030
転換社債	—	500,000
繰延税金負債	17,456	17,142
資産除去債務	304	305
その他	15,376	21,592
固定負債合計	336,084	935,070
負債合計	1,287,149	1,852,503

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	537,828	811,444
資本剰余金	138,361	411,978
利益剰余金	174,583	△87,637
自己株式	—	△41
株主資本合計	850,772	1,135,743
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△45,736	△27,644
その他の包括利益累計額合計	△45,736	△27,644
新株予約権	44,463	65,364
非支配株主持分	353,865	223,451
純資産合計	1,203,365	1,396,914
負債純資産合計	2,490,515	3,249,418

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年5月1日 至平成28年10月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年5月1日 至平成29年10月31日）
売上高	861,692	639,514
売上原価	489,334	367,413
売上総利益	372,357	272,101
販売費及び一般管理費	379,300	550,145
営業損失（△）	△6,942	△278,044
営業外収益		
受取利息	478	15
貸倒引当金戻入額	—	3,600
補助金収入	3,062	2,150
その他	559	1,469
営業外収益合計	4,100	7,234
営業外費用		
支払利息	14,396	6,693
手形売却損	879	228
為替差損	1,155	6,710
その他	347	4,425
営業外費用合計	16,778	18,058
経常損失（△）	△19,620	△288,868
特別損失		
固定資産除却損	0	681
賃貸借契約解約損	—	836
事務所移転費用	—	2,768
上場違約金	—	10,000
特別損失合計	0	14,287
税金等調整前四半期純損失（△）	△19,620	△303,155
法人税、住民税及び事業税	4,058	2,965
法人税等調整額	△1,071	△301
法人税等合計	2,987	2,664
四半期純損失（△）	△22,607	△305,820
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△8,751	△43,599
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△13,856	△262,220

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日）
四半期純損失（△）	△22,607	△305,820
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△52,433	22,708
その他の包括利益合計	△52,433	22,708
四半期包括利益	△75,041	△283,112
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,134	△240,333
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,907	△42,779

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年5月1日 至平成28年10月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年5月1日 至平成29年10月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△19,620	△303,155
減価償却費	26,579	38,109
株式報酬費用	10,756	17,893
のれん償却額	17,809	101,337
受取利息及び受取配当金	△478	△15
支払利息	14,396	6,693
補助金収入	△3,062	△2,150
固定資産除却損	—	681
売上債権の増減額（△は増加）	132,558	181,468
たな卸資産の増減額（△は増加）	△93,860	△333,893
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△562	△13,455
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	△6,497
仕入債務の増減額（△は減少）	△7,699	79,947
未払金の増減額（△は減少）	2,861	△2,146
前受金の増減額（△は減少）	115,017	152,400
その他	15,372	△32,493
小計	210,067	△115,275
利息及び配当金の受取額	478	15
利息の支払額	△14,413	△7,562
補助金の受取額	3,062	2,150
法人税等の支払額	△290	△28,692
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>198,905</b>	<b>△149,365</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,732	△50,239
無形固定資産の取得による支出	△2,261	△3,200
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△20,000	—
その他	△1,192	△15,070
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△36,186</b>	<b>△68,510</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,885	544,550
新株予約権の発行による収入	—	1,265
社債の発行による収入	—	500,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△376,322
非支配株主からの払込みによる収入	94,652	—
短期借入金の純増減額（△は減少）	70,000	4,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△169,191	△311,671
その他	△1,620	△2,318
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,273</b>	<b>559,504</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,887	3,920
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	149,559	345,549
現金及び現金同等物の期首残高	340,915	775,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	490,474	1,121,077

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において新株予約権（第5回新株予約権及び第8回新株予約権）の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ273,616千円増加しております。この結果、当第2四半期連結累計期間末において資本金が811,444千円、資本剰余金が411,978千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年5月1日至平成28年10月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注1）	四半期連結 損益計算書 計上額 （注2）
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	デジタルパンロージ関連機器事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	552,920	295,331	13,440	861,692	—	861,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	552,920	295,331	13,440	861,692	—	861,692
セグメント利益 又は損失（△）	21,626	1,838	△36,709	△13,244	6,301	△6,942

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額6,301千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年5月1日至平成29年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注1）	四半期連結 損益計算書 計上額 （注2）
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	デジタルパンロージ関連機器事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	368,042	258,890	12,581	639,514	—	639,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	368,042	258,890	12,581	639,514	—	639,514
セグメント損失（△）	△127,360	△88,712	△67,643	△283,717	5,672	△278,044

（注）1. セグメント損失（△）の調整額5,672千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「精密基板製造装置関連事業」において、当社の連結子会社であるFirst EIE SAの株式を追加取得したことにより、のれんが294,046千円増加しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。